

水道水に感謝を

東久留米市立南中学校

一年三組 小野寺 遥香

学校で募金についての手紙が配られることが
あります。その手紙には、一錠で四〜五リ
ットルの水をきれいにすることができる薬ニ
百六十五錠がたったの百円で買うことができ
ると書いてあります。調べてみると、水道水
を安全に飲めるのは9ヶ国しかなく、安全な
水を飲めない人が世界には約二十億人もいる

と知りました。その人達にとって、水はなか
なか飲めないとても貴重なものだと分かり、
衝撃を受けました。日本の水道水はペットボ
トルの水と味の差が分からないほどおいしい
です。レストランでは無料で水が提供され
ます。だから日本は、安心安全な水が飲める
世界の中でも数少ないすばらしい国だと改め
て感じました。

日本は世界でもトップクラスのおいしい水
を飲めますが、同じ世界の中でも川や湖の水

を飲んでいる人々がいるという現実を知りました。私は日本の技術でおいしい水を世界の人々に飲んでもらいたいと思いました。私と同じように思う人がすでに行動していて、アフリカの人を助けていたのです。日本伝統の上総掘り井戸という技術をアフリカの人に教えて、井戸掘り職人にすることを目標にしてアフリカに行き、人々の命を救っていたのです。私も困っている人のために自分ができることは率先してやっていたと思いました。

日本の技術を日本だけで使うのではなく、水が汚くて困っている国にも教えて地域によって格差が起きないようにしたいです。水不足で困っている人々は貴重な水を大切に飲んでいますが、気軽に水が飲める私達は水を無だ使いしていないとは言いきれないと思います。安全な水が飲めるか、飲めないかによって、それぞれの水の価値感が違うと感じました。私は中学生なので、まだできることは少ないですが、小さいことから積み重ねていけば

もって自分のできることを増やしていけると
思います。

一つ目は節水です。節水をバ가けることで、
水の無だ使いを減らすことにつながると思っ
ます。例えば、トイレの大小レバーを使い分
けることやお風呂の残り湯で運動ぐつを洗う
などです。私でもできる簡単なものはかりな
ので、水を無だ使いたくないという意識を持
ちながら、やっていきたいです。

二つ目は水を汚さないことです。私はお風

呂洗いをする時、きれいにしほめられよう
と思っついで洗剤を使いすぎしてしまうことが
あります。使いたすぎしてしまうと水が汚れてし
まうので気を付けていきたいです。また、食
用油を排水口に捨てないで、再利用してい
くことも汚さないようにするためには、大切だ
と思います。

三つ目は水の安全が確保できない国の現状
を気にかけることです。私と同じくらいの年
齢の子供が学校に行く時間をけずって、命が

けで水をくんでいる地域もあるそうです。しかしその水は、私達が飲んでいるおいしい水ではなく、にごった川や湖の未処理の水です。日本のように、安全な水が飲めるのはごくわずかな国だけです。水が飲める当たり前の日常を大切にしていきたいです。

私達にとって、水道水は身近で生活にかかせないものというのを再認識することができしました。まだまだ世界には安全な水が飲めない人がたくさんいます。未来には、みんな

が水道水を飲めているように、私ができることを考えて少しずつ取り組んでいきたいです。